Section 06

通知センターで お知らせを確認する

画面の上端から下方向にスワイプすると、「通知センター」が表示されます。カレンダーの予定や、メッセージの確認などが可能です。

通知センターを表示する

① 画面の上端から下方向にスワイプします。

② 通知センターが表示されます。

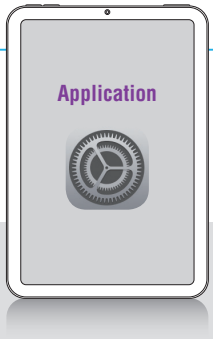
③ 画面の下端から上方向にスワイプすると、通知センターが閉じてもとの画面に戻ります。

MEMO ホーム画面以外から通知センターを表示する

通知センターはホーム画面のほかに、ロック画面やアプリ画面でも同様の操作で表示することができます。

Section 12

Apple IDに支払い情報を登録する



iPadでアプリを購入したり、音楽・動画をダウンロードしたりするには、Apple IDに支払い情報を設定します。支払い方法は、クレジットカードとiTunes Cardのどちらかを選べます。

クレジットカードを登録する

① ホーム画面で＜設定＞をタップします。

② 自分の名前をタップします。

③ ＜支払いと配送先＞をタップします。

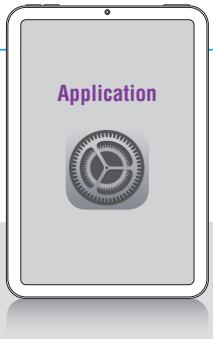
④ ＜お支払い方法を追加＞をタップします。

MEMO 支払い用のApple IDを登録する

すでにiPhoneなどのApple製品を使っていて、支払いにApple IDを登録している場合は、そのApple IDを登録すると、支払いを一本化できて便利です。App StoreとiTunes Storeに登録するApple IDは、Sec.11で設定したApple IDと違っていても問題ありません。

Section 14

Cellularモデルのモバイルデータ通信サービスを設定する



iPad miniでは、モバイルデータ通信サービスをアクティベートしたり、モバイルデータ通信のオン／オフを切り替えたりできます。一部の通信事業者では、プランの変更もできます。

1

モバイルデータ通信サービスを設定する

① ホーム画面で＜設定＞をタップします。

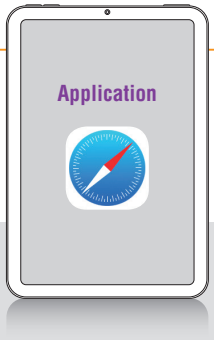
② ＜モバイルデータ通信＞をタップします。

③ ＜新規プランを追加＞をタップします。

④ 任意の通信事業者（ここでは＜au＞）をタップします。

Section 19

リーディングリストを利用する



リーディングリストを使って、「あとで読む」リストを作りましょう。なお、リーディングリストを作成する際は、インターネットに接続している必要があります。

Webページをリーディングリストに追加する

① リーディングリストに追加したいWebページを表示し、⬆をタップします。

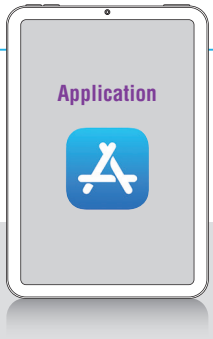
② メニューが表示されるので、<リーディングリストに追加>をタップします。「オフライン表示用の～」画面が表示されたら、<自動的に保存>、または<自動的に保存しない>をタップします。

MEMO リーディングリストとは

リーディングリストは、Webページを追加しておいて、あとであらためて読むための機能です。リーディングリストに追加したWebページは通信ができないときでも表示でき（手順②で<自動的に保存>をタップ）、未読の管理ができるため、どのWebページを読んでいないかが、かんたんに確認できます。気になった記事や、読み切れなかった記事があったときなどに便利な機能です。

Section 36

App Storeでアプリを探す



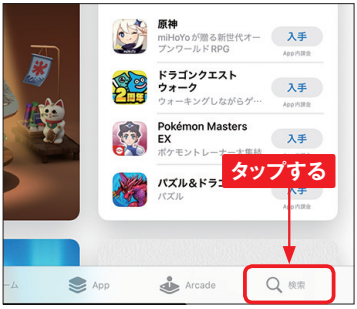
iPad miniにアプリをインストールすることで、ゲームやニュースを楽しんだり、機能を追加したりできます。＜App Store＞アプリを使って気になるアプリを探してみましょう。

5

キーワードでアプリを探す

① ホーム画面で＜App Store＞をタップします。「App Storeの新機能」画面が表示されたら、＜続ける＞をタップし、「パーソナライズされた広告」画面が表示されたら、オンかオフかを選びます。

② ＜検索＞をタップします。

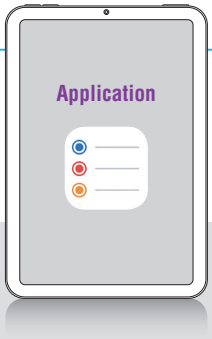


③ 検索したいキーワードを入力して、キーボードの↵をタップします。

④ 検索結果が一覧表示されます。検索結果を上方向にスワイプすると、別のアプリが表示されます。

Section 38

リマインダーを利用する



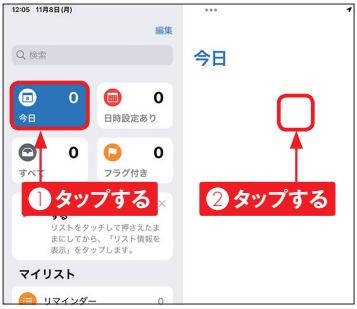
iPad miniの<リマインダー>は、リスト形式でタスク（備忘録）を整理するアプリです。登録したタスクを、指定した時間に通知させることができます。

5

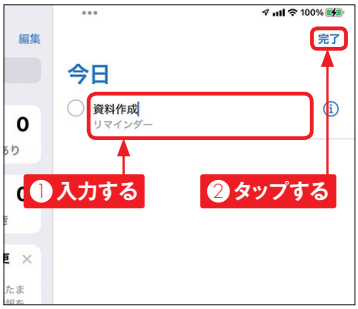
タスクを登録する

① ホーム画面で<リマインダー>をタップします。「ようこそ」画面が表示されたら、<続ける>をタップし、位置情報の確認画面が表示されたら<Appの使用中は許可>または<1度だけ許可>をタップします。

② タスクを追加するリスト（ここでは<今日>）をタップしたあと、画面の右側をタップします。



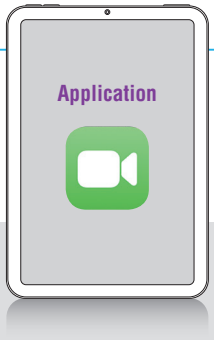
③ タスクを入力し、<完了>をタップします。



④ タスクが登録されます。

Section 41

FaceTimeを利用する



FaceTimeは、Appleが無料で提供している音声／ビデオ通話サービスです。iPad miniやiPhoneなどFaceTimeに対応し、カメラを搭載したデバイス同士での通話が可能です。

5

FaceTimeの設定を行う

① ホーム画面で＜設定＞をタップします。

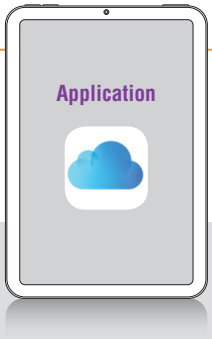
② ＜FaceTime＞をタップします。

③ 「Face Time」が○になっている場合はタップします。

④ 「FaceTime」が●となり、Apple IDにサインインしている場合は自動的にApple IDが設定されます。

Section 46

iCloudにバックアップする



iPad miniは、パソコンのiTunesと同期する際に、パソコン上に自動でバックアップを作成します。このバックアップをiCloud上に作成することも可能です。

iCloudバックアップをオンにする

1 ホーム画面で＜設定＞をタップし、自分の名前→＜iCloud＞の順にタップして「iCloud」の設定画面を表示し、＜iCloudバックアップ＞をタップします。

2 「バックアップ」画面が表示されるので、「iCloudバックアップ」がオンになっていることを確認します。「iCloudバックアップ」がオフになっている場合はタップしてオンにします。

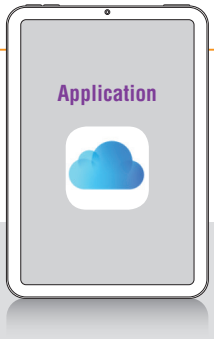
MEMO iCloud（無料）で使用できる機能

iPad miniでは、iCloudの下記の機能が利用できます。

- iCloud Drive
- 書類とデータの同期
- 連絡先やカレンダーの同期
- リマインダーの同期
- iPadを探す
- ファミリー共有
- メール（@icloud.com）
- メモの同期
- マイフォトストリーム
- Safariの同期
- iCloudキーチェーン
- iCloud写真

Section 47

iCloudの同期項目を設定する



カレンダーやリマインダーはiCloudと同期し、連絡先はパソコンのiTunesと同期するといったように、iCloudでは、個々の項目を同期するかしないかを選択することができます。

iPad miniのiCloudの同期設定を変更する

●同期を無効にする

1 P.156手順①を参考に「iCloud」の設定画面を表示し、iCloudと同期したくない項目のをタップしてにします。ここでは、「Safari」のをタップします。

2 以前同期したiCloudのデータを削除するかどうか確認されます。iCloudのデータをiPad miniに残したくない場合は、<iPadから削除>をタップします。

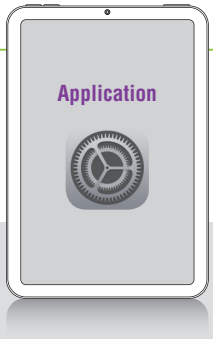
●同期を有効にする

1 iCloudと同期したい項目のをタップして、にします。ここでは「Safari」のをタップします。

2 <Safari>アプリに既存のデータがある場合は、iCloudのデータと結合してよいか確認するメニューが表示されます。結合して同期してよい場合は、<結合>をタップします。

Section 51

2つのアプリを表示する



アプリを行き来しながら作業を進めたいときには、2つのアプリを1画面で同時に表示させることができる「Split View」や「Slide Over」の機能が便利です。

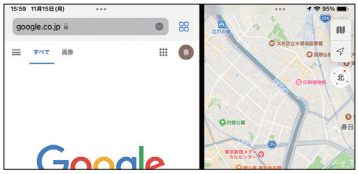
2つのアプリを並べて表示する（Split View）

① アプリの使用中に･･･をタップします。

② ◧をタップします。

③ 使用中のアプリが片側に移動し、ホーム画面が見えるようになるので、並べて表示したいアプリをタップします。

④ 2つのアプリが並んで表示されます。



MEMO 分割のサイズを調整する

手順④の画面で中央のバーを左右にドラッグすると分割のサイズを調整できます。